

報道関係者 各位

2017年2月8日
公益財団法人日本デザイン振興会

2016年度 東京ビジネスデザインアワード 最優秀賞・優秀賞を発表 —最優秀賞は、「三方金の技術を応用したペーパージュエリーブランド」の提案—

東京都が主催し、公益財団法人日本デザイン振興会（会長：川上元美）が企画・運営をおこなう「東京ビジネスデザインアワード」は、東京都内のものづくり中小企業とデザイナーの協働による新ビジネス創出を目的としたマッチング事業です。2012年の事業開始後、実現化した商品は国内外で販売・展示を進めるなど積極的な展開を迎えています。

去る1月25日（水）に東京ミッドタウンで開催した提案最終審査において、あらかじめ各企業から提出されたテーマに対する提案が認められテーマ賞を獲得した8組のデザイナーによる公開プレゼンテーションと審査をおこないました。最優秀賞には原田元輝氏、横山徳氏（プロダクトデザイナー、グラフィックデザイナー）の「三方金の技術を応用したペーパージュエリーブランド」、優秀賞には今井裕平氏、林雄三氏、木村美智子氏（ビジネスコンサルタント+デザイナー／kenma Inc.）の「肌に貼って直接書けるメモシール」、片山典子氏（プロダクトデザイナー／moviti design）の「ユーザーが仕上げる花器デコレーションシート」が選ばれました。

これら3件を含めたテーマ賞の各デザイン提案については、テーマ企業とデザイナーの間で提案の事業化・製品化に向けた検討が始まっています。今後の展開をご注目ください。

「2016年度 東京ビジネスデザインアワード 最終審査結果」

●最優秀賞（1件）【賞金 100 万円】

提案名：「三方金の技術を応用したペーパージュエリーブランド」
提案者：原田元輝、横山徳（プロダクトデザイナー、グラフィックデザイナー）
テーマ：聖書の製本により培った「三方金・三方銀付加工」
内 容：長年培った三方金の技術「保存性」と、紙の持つ豊かな「表現力」と「汎用性」を再構築した、ペーパージュエリーの提案
企 業：株式会社星共社（文京区）



●優秀賞（2件）【賞金 各 20 万円】

提案名：「肌に貼って直接書けるメモシール」
提案者：今井裕平、林雄三、木村美智子（ビジネスコンサルタント+デザイナー）／kenma Inc.
テーマ：水なしで肌に貼れる「特殊転写シール技術」
内 容：「手メモ」ニーズのある医療従事者に向けた、手にはって直接メモをとれるシール
企 業：株式会社コスモテック（立川市）



提案名：「ユーザーが仕上げる花器デコレーションシート」
提案者：片山典子（プロダクトデザイナー）／moviti design
テーマ：金属の板材を利用して流通に展開する「老舗板金技術」
企 業：株式会社丸和製作所（昭島市）
内 容：ORIメタの技術を応用し、気軽に花を暮らしに取り入れることができる金属の板材を使ったデコレーションシート



※東京ビジネスデザインアワードのウェブサイトにて詳細情報を掲載しております。
<https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

本件への報道関係者のお問い合わせ先：株式会社オズマピーアール
担当：松林、月田、鈴木 E-mail：jdp@ozma.co.jp Tel：03-4531-0214
一般からのお問い合わせ先：東京ビジネスデザインアワード事務局（公益財団法人日本デザイン振興会）
担当：鈴木 E-mail：tokyo-design@jidp.or.jp Tel：03-6743-3777

●東京ビジネスデザインアワード審査委員長 廣田 尚子 提案最終審査総評

「今年も東京のものづくり企業の技術力の高さ、そしてマッチングから約1か月という短い期間でここまでプレゼンテーションのクオリティを高められたデザイナーの力に驚きました。今回のプレゼンテーションは全てビジネス提案がしっかりと組み込まれたものです。

最終審査会では「市場性」「デザイン性」「実現性」「ビジネスモデルの完成度」などの視点から、最優秀賞、優秀賞を選びました。最優秀賞は、総合的に優れている提案として満場一致で決定し、海外販路なども視野に入れたりサーチと販売計画、ブランド構築案までなされている点が高く評価を受けました。今回は、テーマ賞8件全てが優秀賞になり得る可能性の高い提案でした。

ご存知のように、いまや良いものを作れば売れるという時代ではありません。そこには戦略が必要となってきます。ビジネスにおける戦略とは、丁寧に計画を立てて、新しい方向へ最後までことを動かすことにあると思います。実は「戦略」は「デザイン」と置き換えることができるのではないのでしょうか。デザインという行為の中で既に戦略的なことが行われているのです。

とはいえ、戦略的にデザインを活用するということは主に大企業の発想で、中小企業、特にこれまでデザイン開発をされたことのない企業にとってはなかなか難しいことです。このアワードではそこで発想を転換し、デザイナーが戦略的に動くことによって、デザインをその企業の戦略として組み込もうとしています。つまりデザインマネジメントが既にこの最終審査会の段階でも各社の内部に始まっているのです。

今後の商品開発の長い道のりも、企業とデザイナーがお互いに力を発揮して、東京発の新しいビジネスを創っていただきたいと思います。」



●最優秀賞「三方金の技術を応用したペーパージュエリーブランド」

プロダクトデザイナー原田元輝氏・横山徳氏の受賞コメント

「80年以上の歴史を持つ星共社の「三方金」の技術は、きらびやかで重厚感を演出できることに加え、変色や収縮、ホコリの影響を受けにくく長期保存性があるという機能性を持つ。ペーパージュエリーブランドでは、多様な加工ができる紙の特性も活かし、ピアス、蝶ネクタイ、カフス、リングなどを展開していきたい。(三方金の技術が使われている)聖書は、何十年にも渡り、長く使用していくもの。使い込んでいくほどに馴染み、経年劣化も良い風合いになっていく。そんなジュエリーを星共社とともに作っていきたい。」

●優秀賞「肌に貼って直接書けるメモシール」

ビジネスコンサルタント今井裕平氏の受賞コメント

「コスメテックとのマッチングから1ヶ月の間に、試作を何度も作成し手応えを掴み、更に医療関係者へのヒアリングでは潜在的なユーザーも発掘できた。事業の実現を通して、ポストイットのような「メモのイノベーション」にチャレンジしたい。独立して間もない私にとってこのアワードは絶好の機会だったので、狙って獲得できたことに運命を感じている。」

●優秀賞「ユーザーが仕上げる花器デコレーションシート」

プロダクトデザイナー片山典子氏受賞コメント

「提案したのは、植物の美しさを生活に取り入れてほしいと考え作った新しい形のフラワーベース。丸和製作所は、マッチングから公開プレゼンまでの僅かな期間も積極的に試作にご協力頂いたり、大変ガッツのある企業で、本アワードを通じ出会えて本当に良かった。その分プレッシャーも感じているが、東京都も実現化はもちろん知財や販促に至までサポートも厚く、頑張っ